

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2011年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-------------------------|--------|------------|
| 建物名称 | (仮称)京都市下京区材木町計画 | 階数 | 地上11F |
| 建設地 | 京都府京都市 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 商業地域・防火地域・準防火地域 | 平均居住人員 | 136 人 |
| 気候区分 | 地域区分IV | 年間使用時間 | 4,380 時間/年 |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2014年2月 | 評価の実施日 | 2013年5月1日 |
| 敷地面積 | 653 m ² | 作成者 | 株式会社 礎 西尾 |
| 建築面積 | 515 m ² | 確認日 | 2012年5月7日 |
| 延床面積 | 4,245.87 m ² | 確認者 | |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

■建設 ■修繕・更新・解体 ■運用 ■オンサイト ■オフサイト

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+オフサイト手法

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.6

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 | |
|---|---|----------------------|
| 七条・河原町通りに面する敷地に建てる集合住宅の計画で、地域の街並みや雰囲気・道路の形状や敷地の形状を考慮し、建築物の形状や仕上げ材等を計画しています。 | 地域産木材を住戸内下地に使用しています。 | |
| Q1 室内環境 建材をF☆☆☆☆を多く使用しています。 | Q2 サービス性能 バリアフリー新法の建築物移動円滑化誘導基準を満たしている。 | Q3 室外環境 (敷地内) |
| LR1 エネルギー 屋上に太陽光パネルを設置しています。 | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい